



梓川地区・御浜町 ふれあい交流会



梓川小学校の児童 16 人と三重県御浜町の阿和田小学校と御浜小学校の児童 15 人による「ふれあい交流会」が 8 月 5 日から 7 日に開かれました。

参加した児童は、到着した日の対面式でお互いの地域を紹介した後、松本城と市立博物館を見学。2 日目は上高地、3 日目は縄手通りなどの散策と味噌蔵を訪れて、自然や文化の相違などへの理解を深めました。

解散式では、梓水苑に宿泊して仲良くなった児童が、和氣あいあいと語り合いながら、別れを惜しんでいました。

交流会は、平成 6 年に旧梓川村と御浜町が友好親善提携を結んで以降、毎年交互に訪問し合い 33 年



梓川の
世帯数・人口

世帯数 4,846 戸
人口 11,759 人
男 5,834 人
女 5,925 人

(令和 8 年 9.1 現在)



▶御浜町児童との対面式



目になります。3 日間引率した梓川公民館と御浜町の職員は「交流を通して友情が育まれている。これからも交流会が続いていければ」と願っていました。



▶国宝 松本城見学



▶対面式 児童代表 歓迎のあいさつ



北大妻こども夏祭り

北大妻公民館にて毎年恒例のこども夏祭りが開催されました。

ストラックアウト、ポケットボール、輪投げ、マグダーツ、カローリング、塗り絵、カードゲームなどで、多くの子どもたちの笑い声であふれていました。ゲームで獲得したお菓子をポケットいっぱいにして、夢中になってゲームをしている子どもたちの横では、様子を見ている親御さんの顔も笑顔でいっぱいでした。

祭りの最後には、ビンゴ大会を子ども、親御さん全員で

▶上高地 山の記念碑前



▶ストラックアウト



▶ビンゴ大会



楽しみ、数字が呼ばれる度に子ども達の歓声が沸いて大変盛り上がったこども祭りでした。

梓川地区スポーツ祭2026

7月5日(日)、梓川体育館にて「梓川地区スポーツ祭2026」が開催されました。梓川地区15町内公民館の選手約200人が、ボッチャと囲碁ボールに参戦。いずれの競技も大きな歓声があり、会場は大いに盛り上がりました。

各競技のチーム編成はそれぞれですが、組長の選抜や親子での参加、お友達チームなど、町会ごとに様々な工夫をされていたようです。

試合の結果は、ボッチャが下立田町会、囲碁ボールが上野町会の優勝。下立田町会は、町会での予選を勝ち抜いた代表チーム。勝因は、チームリーダーの武田君(小学校5年生)が大活躍でした。一方、囲碁ボールの上野町会は、平均年齢80歳オーバーのチーム。代表の方は「年の功だよ…」と満面の笑みで答えました。



▲準備体操



▲ボッチャ



▲囲碁ボール

	ボッチャ	囲碁ボール
優勝	下立田	上野
準優勝	北々条	北々条
第3位	南北条	南大妻



▶ボッチャ優勝 下立田公民館



▶囲碁ボール優勝 上野公民館

角影台町会の少子化問題

全国的に問題な少子化。多い時には900人を超えていた梓川小学校の児童数も現在は約540人と思つた以上に少子化が進んでいます。身近なところでは、角影台町会も少子化が進み、小学生のいる家庭は3世帯しかありません。

その様な中、毎年行われる三九郎と進級祝いのボーリング大会。数少ない交流の中で子どもたちの成長を見ることが出来ます。ついこの間まで手をつながないと歩けなかった子どもがいつの間にか自分の意思で友達のところに行き、下の子に声をかけている姿を見ると嬉しい反面、寂しさもあります。これから子どもたちの成長を見ることが出来る機会を大切にしていきたいと思ひます。



▲今年の三九郎

雑記帳



普段、生活の中でよく耳にする方言「安曇野弁」。大抵は意味も分かるし、どんな場面でも使うのかも分かるが、今まで聞いた中で特に珍しいと思うのが「やはい」である。この標準語の原型を全く留めていない「やはい」を初めて聞いた時は衝撃的だった。

その時の会話の流れでは「こりゃあおどけた。何を言ってるだ。そうじゃねえ」という様なニュアンスで突然登場した。その場にいた人達は皆キョトンとしていた。気になつて意味を調べてみたら、「いいからかげん」が変化した言葉で、「いいかげんにしなさい、そろそろ区切りをつけなさい」と促す場面で使われるとの事だが、標準語にしてしまうとこんな微妙で細かいニュアンスまでは伝わらない。

たった一言でその場の空気を変えてしまう程の威力をもつた「やはい」。自分では中々これを使う勇氣はないが、今後どこかのどんな場面で登場するのか楽しみである。

